

米国 リンゴが有機農産物総販売額の約9%を占める

The Packer 2023年12月7日

編集者注：以下のレポートは、消費者アンケートの回答に基づく分析を提供する本誌(The Packer)の「有機青果物動向2024」報告書([Organic Fresh Trends 2024](#))からの引用である。本誌は1983年以来、青果物の購入と消費の傾向を追跡する主要な消費者調査を後援し、特定の果実や野菜の購入の変動と、業界の問題に対する姿勢の変化を記録してきた。

リンゴは青果物部門の有機栽培の主力であり、有機農産物の総販売額の約9%を占めている。

2022年の有機リンゴの小売販売額は2.6%増加したが、販売量は8.9%減少した。Circana社(消費情報会社)のデータによると、1ポンド(約0.45kg)当たりの平均価格は2.55ドルで、2021年から12.5%上昇した。

本誌の「有機青果物動向2024」報告書によると、消費者の17%がリンゴは有機のみを購入すると回答し、26%が有機の果実と慣行栽培の果実を組み合わせると答えている。

同報告書のデータによると、若年層、高所得世帯、及び民族的少数派は有機リンゴを購入する割合が高く、高齢者、低所得者(原文のまま)、及び白人の世帯は慣行栽培のリンゴのみを購入する回答者が多いことが明らかになっている。

同報告書では、女性は有機リンゴのみを購入する割合が高い(男性は14%に対して女性は20%)ことが示されている。

若年層(18~29歳及び30~39歳)は、年配のグループと比較して、有機リンゴのみを購入する割合が高かった。民族別では、アジア系の世帯が有機リンゴを購入する割合が最も高かった(34.8%)ことが同報告書で示された。

有機青果物動向調査2024 詳細情報

有機農産物の小売販売額 - リンゴ 2022年

- ・ 販売量: 2億6,515万7,450ポンド(約12万トン)
- ・ 1ポンド当たりの平均小売価格: 2.55ドル
- ・ 小売販売額: 6億7,501万8,170ドル
- ・ 有機農産物の総販売額に占めるリンゴの割合: 8.7%
- ・ リンゴの小売販売額に占める有機の割合: 15.4%
- ・ 前年比増減: 2.6%増

出典: Circana社

有機リンゴの購入パターン

- ・ 有機のみ購入: 17%
- ・ 少なくとも時々有機を購入: 43%*

*有機リンゴのみを購入する消費者と有機リンゴと慣行栽培のリンゴの両方を購入する消費者を含む。

年齢別「有機のみ購入」と回答した割合*

- ・ 18~29歳: 32%
- ・ 30~39歳: 19%
- ・ 40~49歳: 17%
- ・ 50~59歳: 7%
- ・ 60歳以上: 7%

*世帯の主な購入者の年齢による

世帯収入別「有機のみ購入」と回答した割合*

- ・ 10万ドル以上: 16%
- ・ 5万ドル以上10万ドル未満: 16%
- ・ 2万5千ドル以上5万ドル未満: 15%
- ・ 2万5千ドル未満: 23%(原文のまま)

*世帯年収ベース

執筆者: トム・カースト